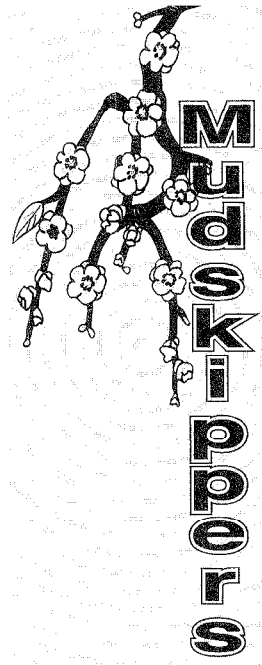


蒼魂 ～がばイイ～佐賀医～ どんだけ～ 2007



第22号

2007年9月発行

佐賀大学医学部

〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

http://www.saga-med.ac.jp/

新聞編集委員会

印刷/徳昭和堂

メインステージ

前夜祭 10/5(金)		10/6(土)		10/7(日)	
18:00	学年対抗クイズ	9:00	開会式	9:00	合唱
18:25	ビデオ企画	9:30	現音 LIVE	9:30	軽音 LIVE
18:30	お笑いライブ 麒麟 & ダイヤン	10:30	TEAM FIGHT	10:30	女の戦い ～No.1看板娘決定戦～
19:00	学年対抗芸だし	11:30	自転車トリアル	11:30	(秘)
20:15	現音 LIVE	12:00	準備&リハ コンサート	12:20	けやきの会
20:45	抽選会	13:20	開場 175R	12:30	フールバトル
		15:30	SKUNK SHOT BOOSTER	13:30	若槻千夏トークショー
		16:10	○×クイズ	14:30	ビンゴ大会
		16:40	自転車トリアル	15:30	スケッチ表彰
		17:40	軽音 LIVE	15:40	現音 LIVE
			ミスコン	16:40	6年生ステージ
			☆ カマコン	17:40	ダンスショー
		20:30	現音 LIVE	18:00	ミス医大
				20:30	花火・フィナーレ

※ 三日間共に、予定終了時刻は、21:00です。
あくまで予定ですので、時間が多少変わる場合がございます。

今年もこの季節がやってきました!!むつごろう祭の季節です!!
10月5日には前夜祭が、そして6・7日には本祭一日目と二日目が開かれます。
今年「蒼魂」がばイイ、佐賀医「どんだけ」2007というテーマのもとに行われます。蒼魂とは、今年のテーマカラーの青からとったもので、実行委員一丸となって学園祭を盛り上げようと思っています。
豪華なゲストをお迎えし、楽しい企画もたくさん行われる予定です。是非、大勢の皆さんのお越しをお待ちしております。
(北島・川良・笹・神谷)

前夜祭

10月5日(金)
入場料500円
焼きそば、豚汁、ビール
の無料飲食あり/色々な出店もあります
今年前夜祭に今をときめく大物お笑いコンビの麒麟とダイヤモンドがやってくる!

会場が盛り上がることを間違いなく期待しています!
皆さん、是非ともお越し下さい☆



麒麟とダイヤモンド

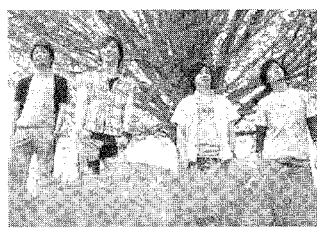
175Rが佐賀を熱くする!!

日時 10月6日(土)
場所 メインステージ
開場 13時20分
開演 13時35分



175R

ファスト&メロディックな活きのいいパンク・ロックを熱く鳴らす4人組、175R。「ハッピー・ライブ」でオリコンチャート初登場1位を記録し、紅白歌合戦に出場するなど、その勢いはインディーズ時代から今まで衰える



Skunk shot booster

こと知らない。今回は特別ゲストで skunk shot booster も出演。絶対来てね!

執行部企画

前夜祭はあの、有名なお笑い芸人の麒麟がやってきました!そして本祭1日目は、あの、「空に唄え」ので是非いらして下さい

「ば」などのヒット曲を出した、175Rがやってきます!13・20開場です。是非いらして下さい

産直

日時:10月6日(土)、7日(日)
場所:メイン会場のテント内
時間:9:30〜売り切れ次第終了

毎年大盛況の産地直送 テント人気フルーツ
パフェとチョコバナナパフェをぜひ食べてください!
その他にも恒例のあつあつ焼き芋(1000円)・じゃがバター(50円)・市場から仕入れる新鮮な野菜・果物・観葉植物など

毎年ご近所の方々が行列を作るタイムサーピスはなんとノ野菜が1個10円/朝10時スタートで、売り切れ次第終了です。お早めにお越しください。お待ちしております!

フナーマーケット

むつごろう祭フリーマーケットを今年も開催します。
学内はもちろん学外の方からも毎年大好評を得ている企画で、今年も50以上の出店者を募る予定です。

衣類、雑貨、アクセサリなどお気に入りのものに出会えるかもしれません。
出店者の方との値段交渉といったコミュニケーションも魅力の一つです。
多数のご来場お待ちしています。

献血

本祭初日(10/6)に献血者に来て頂き、その場で400ml献血をしてもらいます。時間帯は9:30〜16:00(12:00〜13:00は昼休み)です。お酒を飲んだ方や、体重50kg未満の方は献血ができません。
また、臓器バンク・骨髄バンク・アイバンクのパンフレットの配布、登録の呼びかけ、募金活動も行っています。
とてもおいしいレインボーポッキーの販売もします。
是非献血にご協力下さい。

学術

学術では、学祭2日間とも看護科棟で医学展や文化系部活動の発表・展示などさまざまな企画を企画しています。ぜひ看護科棟に足をお運び下さい。

医学展

今年のテーマは「国境なき医師団」です。国境なき医師団とは国際的な民間の医療・人道援助団体で、世界約70カ国に年間約4700人以上の医師、看護師、助産師らを集めています。
派遣し、危機に瀕した人びとの救援活動を非営利で行っています。今回の医学展では実際に活動されている様子をパネルなどでわかりやすく紹介し、看護師、助産師らも集まっています。

医学書の古本市

日時:両日 10:00〜17:00
場所:看護科棟前
欲しかったあの教科書が格安(?)で手に入ります。当日持込みで売ること出来ます。



秋のおこころ

今夏、初めて湿度は低く、初めは湿度は低く、多湿・低温の土壌に発達した草原で、低温のため植物の枯死体の分解が阻害されて地表には泥炭が堆積する。土壌は貧瘠で適応できる植物は少なく、小型の湿性植物が生育している。霧ヶ峰にある八島ヶ原湿原は、およそ1万年の歴史を経過しており、泥炭の厚さは810センチメートル(1年間に1ミリメートルの堆積速度)である。キリガミネアキノキノソウなど新種が発見されている。夏の草花は種類が多く、マツムシソウ、アカバナシモツケソウ、ハバヤマボクチなどがみられた。ここでは自然との共生について考えさせられた。温暖化による気温の上昇と降水量の低下による湿地の乾燥化。特に高層湿原は水源が降水と霧でありその影響が危惧されている。また、踏みつけによる湿地や草原の裸地化、外来種の侵入、排気ガスによる汚染、ペットの糞や放棄などの影響も危惧されている。
一方、平均気温は低く、アルプスの山並を三方に眺められる霧ヶ峰は魅力的であった。訪れる人も多く、それぞれが自然を満喫していた。自然保護センターやビジターセンターを訪れたが、自然の魅力に触れる機会を大事にし、地域住民と一緒に自然を保護する取り組みも行っていた。日常の世界を離れてみると、大いなる自然の一部を借りている自分の姿が垣間見えた。(内川)

学術②

★文化系部活動・サークルの発表・展示

○美術部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟1F
玄閣ホール

○混声合唱部
日時：6日(土)
11:00～11:30
15:00～15:30
場所：学食前(雨天時…看護科棟前)

○国際医療研究会
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟1F
エレベーター前

○OALSサークル
日時：6日(土)
10:00～17:00
場所：看護科棟3F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F
講義室

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F
講義室

○国際医療研究会
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

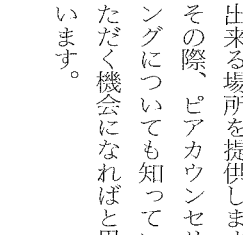
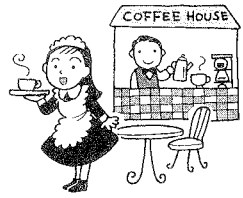
○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F

○室内楽部
日時：両日
13:30～16:30
場所：看護科棟1F

○OALS部
日時：両日
10:00～17:00
場所：看護科棟2F



★スタンプリング

文化系サークルによるスタンプリングを実施します。看護科棟の各教室

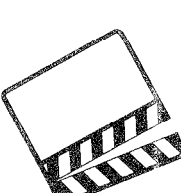
を回って、当日配布する台紙にスタンプを集めると素敵なプレゼントがもらえます。

映画

日時：十月七日(日)
場所：臨床小講堂

②「ハッピーフィート」
14:00 開場
14:30～16:30 上映

①「ライオンを探せ」
10:30 開場
11:00～12:30 上映



講演会

日時：十月六日(土) 場所：臨床大講堂

① 著書『がんばらない』がTBSでドラマ化
鎌田 實先生講演会
「命を支える医療を考えよう」
10:30 開場 11:00～12:15 講演



プロフィール
1974年 東京医科歯科大学医学部卒業。長野県諏訪中央病院にて地域医療に携わる。
1988年 諏訪中央病院の院長に就任。
現在、諏訪中央病院名誉院長。
東京医科歯科大学臨床教授。
『がんばらない』『あきらめない』など著書多数。

② 世界の平和を訴える

レシャード・カレット先生講演会
「地域医療・介護の現状および国際支援活動について」
15:30 開場 16:00～17:30 講演



プロフィール

1976年 京都大学医学部卒業。
1982年 静岡県島田市民病院呼吸器科院長就任。
1993年 「レシャード病院」開設。
2002年 NGO「カレッジの会」発足し、理事長に就任以降、日本とアフリカニスタンの両方で医療と支援に携わる。
2004年 京都大学医学部臨床教授。

アジア医学生会議 in ソウル

医学科4年 佐川尚子
3年 江入明子
看護科3年 岡本真希
医学科1年 南嶋里佳
中村有里

私たちは、7月22日から29日に韓国・ソウルで行われた、アジア医学生会議 (AMSC: Asian Medical Students' Conference) に参加しました。AMSCはアジア医学生連絡協議会 (AMSA: Asian Medical Students' Association) の開催する会議です。アジア・オセアニア13の国と地域から約400人の医学生が、国籍ごちゃ混ぜの20人ほどのグループに分かれて、グループ単位で行動をする中で、大変充実した1週間を過ごすことができました。今回の会議のテーマ、病 (Cancer in Asia-Incidence, Suffering and Prevention) に基づいたプログラムの他、韓国の文化体験、観光、参加者による各国文化披露など内容盛り沢山でした。皆さんにも少しですが、その様子、私たちの感じたことなどをお伝えできればと思います。

グループディスカッション

私のグループは22人で、韓国、インドネシア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、台湾、タイ、UKと9カ国から学生が集まって意見交換をしました。議論の中で韓国はキムチに代表されるように辛い味付けや塩辛い伝統的な食物が要因とされる胃腸が多いことや、食生活の欧米化や生活環境の変化によって大腸癌の割合が急速に増加している、日本の現状に良く似ていることが分かりました。しかしバング

病院見学

私たちはソウル市内の病院を見学に行きました。明るい照明で、ロビーや廊下のインテリアにも凝っていて、病院のイメージとは異なっていました。各国の参加者が注目しているポイントも異なり、面白かったです。

ミニセミナー

会議の終盤、癌予防を呼び掛けるポスターを持って、ソウル市内を練り歩きました。ポスターには煙草、食生活、飲酒、運動、HBV等の癌に関する注意事項がわかりやすく描かれていました。韓国語で「癌を予防しましょう」という意味の「ハムエバン

全体を通して

私にとってAMSCに参加した一週間は、たった7日間の出来事とは思えないほどとても色濃く有意義な時間でした。初めて他国に友人ができ、身をもって文化の違いに触れることができた。韓国人は本当に毎食キムチを食べていたこと、イスラムを信仰する子は本当に毎日メッカに向かっていること、そのほか、「ドラえもん」は超有名な人だったこと、「ちびまる子ちゃん」も負けてなかったこと、日本人の女の子は浴衣を着た日だけチャットだけ人気者になったこと、韓国人は実はものすごくジェントルマンだったこと…

AMSCの思い出は到底このスペースでは語り尽くせません。

国際色豊かな友人達と共に、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。興味のある人は、会議への参加手続きや航空券を手配する前に、可能な限り早めに教務主任の先生と相談してください。このような貴重な経験をさせていだいたことに、心から感謝申し上げます。共に、参加者一同、この経験をぜひ、次につなげていきたいと思います。(徳田)



28th Asian Medical Students' Conference
July 22-29, 2007
Seoul, Korea

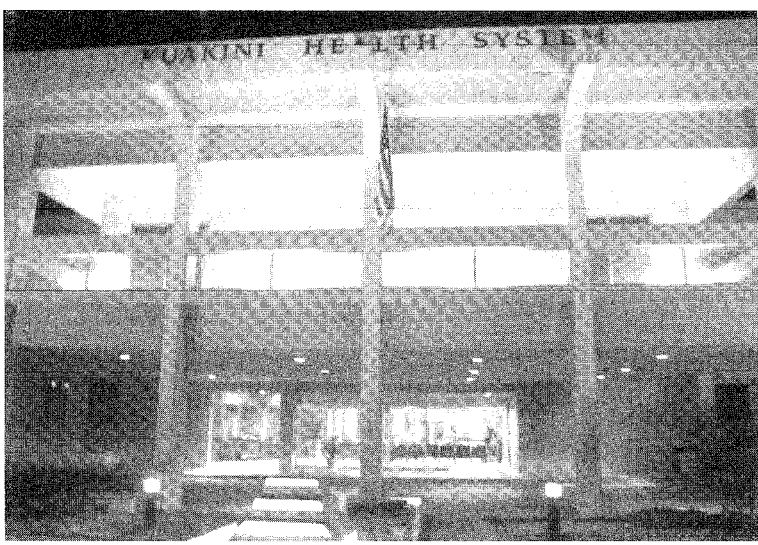
の友人も自分の英語力不足を痛感していたようで2人で「国に帰ったらお互い英語の勉強頑張ろうね」と励ましあったりもしました。
今回AMSCに参加したことで、これから自分は何を学び、何を実行していくかなくてはならないのかということが、自分なりに分かってきたように思います。これからはAMSCを終えてすぐの今のモチベーションを保ちつつ、また更に自分を磨いていきたいと思っています。

ハワイでの臨床実習に学ぶ ある医療のかたち

医学科6年 那須 涼

医学科6年次の正規臨床実習プログラムの一つとして、米國ハワイ大学医学部の提携病院である Kuakini Medical Centerでの4週間の病院実習があるのをご存知ですか。IFMSAや医学教育振興財団などのプログラムで個人的に海外に留学する方法も増えつつありますが、大学の正式な単位として海外の医療現場を現場で学べるのは、これが唯一の貴重な機会といえます。

今年5月、国際交流部の小田先生をはじめ、多くの先生方のご助力を賜り、6年生の入江真理



2007年
Kuakini Medical Center 臨床実習プログラムの概要
場所：米國ハワイ州ホノルル Kuakini Medical Center
期間：2007年5月29日～6月22日(4週間)
※米年度の派遣期間は未定
応募資格：医学科6年次に進級する、TOEFL(CBT)で240点以上の語学力を有する者
募集人数：2名(宿舎の都合上、同性であることが必須)
費用：800USD/人(宿泊費および実習の際の医療保険代)
※交通費、食費などは別途必要

2007年
Kuakini Medical Center 臨床実習プログラムの概要
場所：米國ハワイ州ホノルル Kuakini Medical Center
期間：2007年5月29日～6月22日(4週間)
※米年度の派遣期間は未定
応募資格：医学科6年次に進級する、TOEFL(CBT)で240点以上の語学力を有する者
募集人数：2名(宿舎の都合上、同性であることが必須)
費用：800USD/人(宿泊費および実習の際の医療保険代)
※交通費、食費などは別途必要

何より大事な身体診察
実習の初めの1週間はひたすら身体診察の練習に費やされた。ハワイ大学の医学部に在籍する John A. Burns School of Medicine は、医療面接および身体診察の技術向上のため専用のトレーニング施設を有しており、学生は病棟実習に出る前に徹底的に訓練を受け、試験に合格しなければならぬ。私たちのような外国人からの派遣生も同様に、教習ビデオや模擬患者による数日の練習期間の後、きちんと実技試験が課される。

身体診察は、医学科4年次のOSCEとは異なり、実践に即してバイタル、頭頸部から胸部、腹部、神経系にいたるまで、全ての診察を連続して30分で行う。しかも診察の順序が細かく決められ、順序どおりにできないと減点対象になる。誰もが一定の水準を保てる合理的なやり方ではあるが、改めて米國のマニユアル社会を強く実感した。



望まない no code まで、いくつかのレベルに分かれている。そんなことをいさなり尋ねられても困るのではないかと思いきや、意外にも半分以上の患者さんが、電氣的除細動はかけず、薬剤による治療のみをしてほしい」とか「挿管はしないでほしい」など、自分の希望を冷静に伝えていたことには驚いた。

Resident のスケジュール
5:30 Pre-round 担当患者を回診し、カルテを記載。
7:00 Sign-in round 前日入院となった患者について症例報告会。
7:30 Morning conference EBM review, case report などレジデントが交代で発表。
8:00 業務開始
9:30 Attending round チーム専属の指導医に症例報告。
11:30 ICU round 全チームがICUに集合

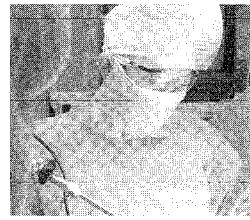
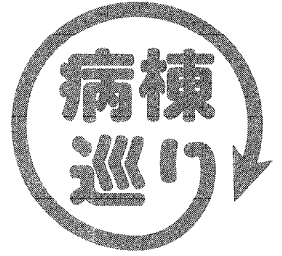
彼女の意志は固かった。一時は医療に頼るとしても、生き方は自分のもの。医療は人生を豊かにするための選択肢の一つ。個々の患者がもつ、その確固たる意識に、同じ医療でも捉え方ひとつで使われ方がこうも違うのかと驚かされた。

Code Status ~生き方の選択~
on-call の当番日は、新患の入院手続きや病歴聴取、治療に忙殺される。しかし、入院する全ての患者に対し、その重症度を問わず必ずレジデントが時間を割いて尋ねる。それが code status であり、全ての手を尽くし救命処置を行う full code から、全く蘇生術を得ていないが、



最後に
ハワイ大学臨床実習プログラムの意義
医療水準も高く、恵まれた日本にいながら、わざわざ海外で臨床医学を学ぶ意義は何でしょうか？その答えは個人によつて異なると思います。医療水準も高く、恵まれた日本にいながら、わざわざ海外で臨床医学を学ぶ意義は何でしょうか？その答えは個人によつて異なると思います。





胸部外科 徹先生

今回初めてのコーナーです。連載していく予定です。学生にとつて病棟の先生との関わりは少ないかと思いますが、現場で働く先生のお話は興味深いものです。一人目は胸部外科の櫻木徹先生にインタビューしてきました。

○胸部外科を専門にしようと思つたきっかけは何ですか？

学生のときの解剖実習が面白かった。外科じゃないかと思つていました。外科の仕事や響きのかつこよさ、手術をしてみたいという思いがありました。

○研修医時代と専門医になつて自分で手術を計画するようになったらどうですか？

研修医時代は家に帰れないことがありました。家にほとんど帰らなかつたこともあつて、皆にかがえていて、周囲から「ベニシリンを作れ」と言われたこともありました。

○先生の趣味は何ですか？

休日に子どもと遊ぶことです。先入観のない真つ白な子どもと触れ合うことは診療のヒント、アイデアにつながることもあります。

○学生に専門(胸部外科)を決める上でのポイントは何ですか？

手術に入るということ、日常の生活にメリハリがあります。手術室は特殊な雰囲気ですが、手術をしているときが一番楽しいと思います。

○学生に対して何か伝えたいこと、アドバイスはありますか？

学生時代にはかできないことを楽しむこと、学系というものは手術室と手術室外のメリハリがあります。手術がうまくいった週末のお酒は格別においしいと思えます。

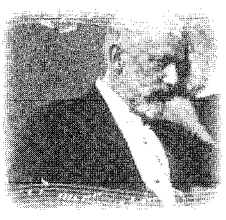
○今からの目標やつてみたいことはありますか？

目の前にいる患者さんを一人一人きちんと治療をしつかり学んだ上で作曲をした、ということである。

○仕事の上での楽しいこと、苦労話を教えてください。

経験を重ねていく上で、患者者に対して責任があるというプレッシャーをさすこと、苦勞話を教えてください。

作曲家の肖像



今回紹介するのは、極寒の地ロシアが生んだ偉大な作曲家。音楽の授業で肖像画をご覧になった方も多いと思うが「どこか物憂げな瞳をした、白髪が強い」というイメージが強い。静謐を湛えたこの紳士こそロマン派を代表する作曲家、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキだ。

圧倒的なまでの甘美なメロディ(筆者の偏見も含む)甘くせつない旋律の数々は、日本の「演歌」も顔負けの「チャイコフスキ節」だ、と思ふ。こう書くと、チャイコフスキの音楽はロシアの「演歌」なのかと誤解されそうなので弁解しておくと、ロシアという民族意識の高い国に生まれ民族音楽をこよなく愛しながらも、それだけに偏ることなく西洋の音楽

を感じようになつてきました。しかし、肺病の手術をした患者さんが5年後に元気な姿に変わっている姿を見たときにはとても嬉しく思います。

○先生への印象は？

親の間に生まれた。幼い頃から「ガラスの靴」のような子といわれるほど繊細な心の持ち主で、感受性が豊かだった。

まさに「チャイコフスキワールド」……優雅で華やかな、時に哀愁漂う美しい旋律たち。物語を紡いでいるかのようにドラマティックに展開していく。目(耳)が離れない。昔からとにかく熱狂的なファンが後を絶たなかった。

彼がまだ生きていた時代、彼の音楽に特別魅せられた一人の女性——名前を「フォン・メック夫人」といったが、裕福な未亡人がいた。チャイコフスキの音楽に惚れこんで、実に14年もの間、チャイコフスキに多額の経済的・精神的援助を行った女性だ。

この大学は教員と学生との垣根が低く、非常にいいことかなと思います。学生の方からコンタクトをとっているいろいろなお話をすると、これは私にとつてヒントをもらったり、刺激を受けることにつながっています。

高校を卒業したら自分で生活してみたくて、中途半端な距離ではない北海道に行きました。北海道では雪と氷との格闘でした。高校時代までは野球をしていましたが、大学の入学式の日にはグラウンド一面に積もる雪を見て諦めました。

前号に続き、今回も医学科6年生の那須涼さんには海外での病院研修記をご寄稿いただきました。行動に背を向けることがありませんように、祝ムツゴロウ祭！ (植原)

チャイコフスキは1840年、音楽好きの両親の間に生まれた。幼い頃から「ガラスの靴」のような子といわれるほど繊細な心の持ち主で、感受性が豊かだった。

まさに「チャイコフスキワールド」……優雅で華やかな、時に哀愁漂う美しい旋律たち。物語を紡いでいるかのようにドラマティックに展開していく。目(耳)が離れない。昔からとにかく熱狂的なファンが後を絶たなかった。

彼がまだ生きていた時代、彼の音楽に特別魅せられた一人の女性——名前を「フォン・メック夫人」といったが、裕福な未亡人がいた。チャイコフスキの音楽に惚れこんで、実に14年もの間、チャイコフスキに多額の経済的・精神的援助を行った女性だ。

この大学は教員と学生との垣根が低く、非常にいいことかなと思います。学生の方からコンタクトをとっているいろいろなお話をすると、これは私にとつてヒントをもらったり、刺激を受けることにつながっています。

高校を卒業したら自分で生活してみたくて、中途半端な距離ではない北海道に行きました。北海道では雪と氷との格闘でした。高校時代までは野球をしていましたが、大学の入学式の日にはグラウンド一面に積もる雪を見て諦めました。

前号に続き、今回も医学科6年生の那須涼さんには海外での病院研修記をご寄稿いただきました。行動に背を向けることがありませんように、祝ムツゴロウ祭！ (植原)

新聞編集委員

植原恒彦教授(編集委員長) 池田豊子教授 尾崎岩太准教授 河田康祐 田中 恵(医6)、竹内美奈子、竹下綾子(医5)、北村浩晃、小池このみ、日高 駿(医4)、神谷雅明、川良智美、北島慶子、笹樹(医3)、平川陸美、村田典子(看3)、小野行秀、柏原悠也、加藤圭悟、榎戸 翠、太田美徳、徳田悠希子、横山加奈子(医2) 棚町豊二(マルチメディア支援室) 東家廣典、荒川孝範(学生サービス課職員)

要望などの連絡先 荒川 arakawat@cc.saga-u.ac.jp

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。



○専門の研究のテーマについて

自律神経調節のための脳内での神経連絡がテーマです。血圧や浸透圧の調節などに関わる神経およびその神経伝達物質や相互作用について20年ほど研究しています。

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

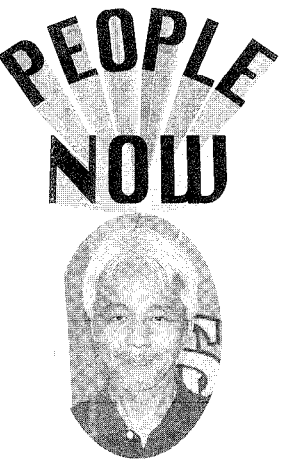
○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

○今後の目標について

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。

今年度から看護学科の解剖学と生理学の講義を受け持りましたが、看護学科の学生の出席率はほぼ100%に近く大変感心しております。



看護基礎科学講座 看護機能形態学分野 教授 河野 史 先生

経歴
昭和54年3月 帯広畜産大学畜産学部獣医学科卒業
昭和55年8月 ドイツ・ミュンヘン大学へ留学
昭和57年4月 佐賀医科大学医学部解剖学講座助手
平成7年5月 ドイツ・マインツ大学へ留学
平成13年7月 佐賀医科大学医学部解剖学講座助教授
平成19年2月 佐賀大学医学部看護学科看護基礎科学講座教授

さん(年齢的に兎は無理でしょう)からうたいたいと思つていま